


# 連携だより

令和5年

9月号

令和5年9月1日発行

独立行政法人 国立病院機構   
呉医療センター・中国がんセンター  
地域医療連携室

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1  
TEL 0823-22-3816  
FAX 0823-32-3070

URL <https://kure.hosp.go.jp>

理念

思いやりのあるやさしい誠実な医療を提供します

9月の花 クジャクソウ



## 今月号のトピックス

- 診療科紹介：乳腺外科科長 吉山 知幸 ..... 1
- 開業医訪問 副院長 田代 裕尊 外科 谷峰 直樹  
腎移植に関心のある患者様をご紹介ください ..... 2
- 開業医訪問 乳腺外科科長 吉山 知幸  
乳腺外科科長 吉山知幸がご挨拶に伺っております ..... 5
- 新任医師紹介 ..... 5
- 定期講演 消化器内科医長 楠 龍策 ..... 6
- TCSA勉強会報告 皮膚・排泄ケア認定看護師 大田 百恵 ..... 7

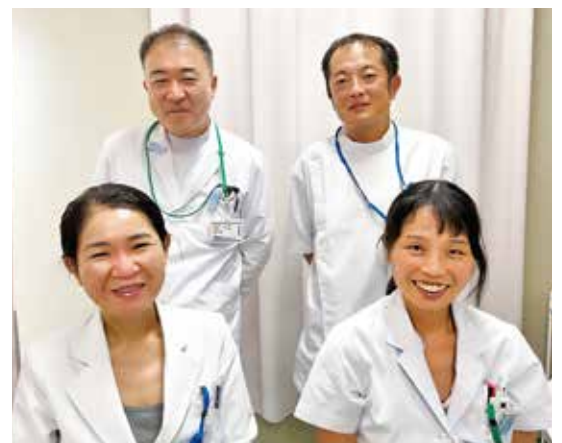
## 診療科紹介：乳腺外科

呉医療センター乳腺外科科長 吉山知幸  
小林美恵、川又あゆみ、安井大介

平素よりご高配を賜り誠にありがとうございます。

乳腺外科は、中国地方のがんセンターとして乳がんを中心とした悪性疾患、また良性疾患を含めた乳腺領域の疾患を幅広く担当しています。遺伝性乳がん卵巣がん症候群にも対応しております。呉医療圏の中核機関として最先端の医療を皆様へ提供できるよう鋭意努めています。

現在、乳腺外科は吉山知幸（科長）、小林美恵、川又あゆみ、安井大介の4名の乳腺専門医で診療にあたり、乳がんを中心とし乳腺疾患すべてに対応しています。小林医師、川又



後列左から 吉山知幸 安井大介  
前列左から 小林美恵 川又あゆみ

医師、2名の常勤の女性医師がおりますので、女性医師希望の患者さんがおられましたら対応をいたしますのでご紹介をいただけますと幸いです。

当院は日本乳癌学会認定施設として、年間100例以上の乳癌患者さんを担当し、これまでに1000例を超える原発性乳がんの手術を経験しています。乳腺疾患に対する最適な医療を提供することはもちろん、他院からのセカンドオピニオンの依頼をお受けし、ご希望の施設があれば快く情報提供もさせていただきます。

また、日本臨床腫瘍研究グループ（JCOG）の乳がん外科グループの参加施設として登録され（全国51施設）、質の高い臨床試験へ参加し、会議やセミナーに定期的に出席し最新情報の収集に努めています。

呉地域において、共通の乳がんに対する標準的診療が適格になされるように、地域連携パス（クリニカルパス）の作成、運用における中心的な役割を果たしています。定期的な地域での講演会、研究会を開催し、呉地域の乳腺診療のレベルアップ、情報交換に努めています。

乳がん診療は高度に専門化しており、手術療法では整容性への配慮を徹底しつつ、詳細な検査結果に基づいた薬物療法および放射線療法により、できるだけ高い治癒率を達成するように心がけています。そのために腫瘍内科（薬物療法）、放射線腫瘍科（放射線療法）、形成外科（乳房再建）など他科医師との連携を行い質の高い乳がん診療を提供しています。また、患者さんを中心とした医療を行うために、看護師、薬剤師、臨床心理士、栄養士、ソーシャルワーカー、メディカルスタッフとともに多職種チーム医療を実践しています。おくすり外来やカウンセリングの機会を設けることにより、治療についての理解を深めていただき、納得して治療を受けていただくことが出来ます。

初診患者さんは毎日受付しております。お困りの症例などありましたら、ご相談いただければ幸いです。きめ細かい診療を行い、最善の医療を提供いたします。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

## 外来診療日割表

初診患者さんは毎日受付しております

診療時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	吉山 小林	吉山 川又	吉山 小林	担当医 (手術日)	担当医 (手術日)
午後	川又 小林	吉山 川又	吉山 小林	検査	安井 (手術日)

当科は予約制ですが、急な診察を要する場合はご連絡ください。  
可能な限り対応いたします。

## 開業医訪問

副院長 田代裕尊、外科 谷峰直樹が  
ご挨拶に伺っております



副院長  
田代 裕尊



外科  
谷峰 直樹

## 腎移植に関心のある患者様がおられればご紹介ください

呉医療センターでは2018年より生体腎移植術を施行しております。

地域の皆様で腎移植への関心、ご希望がある患者様がおられれば、サポートさせていただきたいと考えています。生体移植が困難な場合や献腎移植登録をご希望の場合も、大学病院などと連携してご希望に沿った医療を提供できるよう相談させていただきます。

## 生体腎移植について

本邦では生体腎移植が腎移植全体数の約90%を占めています。生体腎移植のうち多くは親から子への提供ですが、近年は夫婦間での腎移植が増えています。これは免疫抑制療法の進歩によりABO型やHLA型が全く異なっても問題なく腎移植ができるようになってきたこと、手術や周術期管理の進歩により高齢者の手術が安全にできるようになってきたことによります。生体腎移植の利点は、予定手術であるため、術前検査や処置に十分時間をかけ、より安全に配慮し腎移植を行うことができることが利点です。（日本腎移植学会HPより改変）

## 腎移植レシピエント適応基準（日本移植学会のレシピエント適応基準）

- 1) 近い将来に透析導入が必要となる保存期腎不全やすでに維持透析施行中であること
- 2) 全身感染症がないこと
- 3) 活動性肝炎がないこと
- 4) 悪性腫瘍がないこと

## 腎移植レシピエント禁忌条件

- 1) 心・肺機能の著しい低下
- 2) 著しい全身動脈硬化（移植腎血管吻合可能部位がない）
- 3) 全身衰弱
- 4) 結核などの活動性感染
- 5) ドナーHLA抗体強陽性で治療しても抗体除去できない
- 6) 精神疾患などで治療が理解できない

⇒ほぼすべての末期腎不全患者が適応を検討する対象になります。

Crが3mg/dl程度からでも、腎移植に関心のある患者様には情報提供を行い、希望に沿った医療を受けられるようにサポートいたします。また、年齢による明確な基準は定まっていません。当院では70歳代の方でもその他の条件によって、移植を検討したいと考えています。

## 生体ドナーについて

ドナーの方も年齢が70歳代、基礎疾患があってもコントロールされていれば適応となる場合があります。ご希望の場合は、まずご相談いただければ幸いです。

## 腎移植後の生活

腎移植後には、腎不全による体調不良が改善し、透析による時間的な制約もなくなるため、腎移植レシピエントの身体的・精神的・社会的な生活の質は向上します。免疫抑制剤の服用による影響があるため、継続的な通院、管理（移植後安定期には1～3か月毎の通院）は必要となりますが、基本的には健康な人と同じように特に大きな制限なく日常生活を送れるようになります。移植後約1～3ヶ月程度で復学・就職・社会復帰も可能です。

## ご紹介時の連絡

診療日は月曜日午前中（外科・谷峰直樹）となっておりますので、診療予約申込書と診療情報提供書を地域医療連携室にFAXをお願いいたします。

**地域医療連携室**

電話番号 **0823-22-3816**

FAX番号 **0823-32-3070**



● 国家公務員共済組合連合会 呉共済病院 ●



● 医療法人社団 森本医院 ●



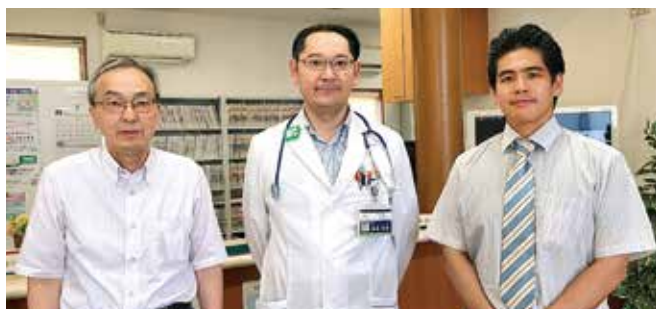
● 医療法人 中央内科クリニック ●



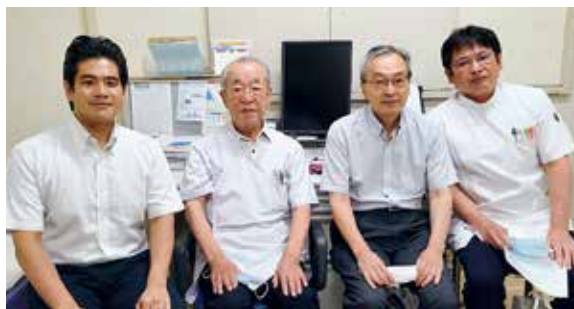
● 医療法人社団辰星会 新開医院 ●



● 医療法人せいざん 青山病院 ●



● 医療法人社団 生康会 谷本医院 ●



● 医療法人社団はまい会 大君浜井病院 (左)  
医療法人社団 芸南クリニック (右) ●



● 医療法人社団スマイル 博愛クリニック ●



● 医療法人社団仁風会 青木病院 ●



● 医療法人社団スマイル  
クリア焼山クリニック ●

## 乳腺外科科長 吉山知幸がご挨拶に伺っております



• ますもと乳腺クリニック •



• 医療法人大和会 西条ときわクリニック •

## 新任医師紹介

### 耳鼻咽喉科

鮫島 克佳



**専門** 耳鼻咽喉科一般  
**資格等** 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会専門医、補聴器相談医、騒音性難聴担当医  
**趣味** 釣り  
**ご挨拶** 5年ぶりに呉へ帰ってまいりました。呉地域の医療に貢献できるよう努力いたしますので宜しくお願い致します。

### 小児科

原 香住



**専門** 小児科一般  
**資格等** 日本小児科学会専門医  
**趣味**  
**ご挨拶** 地域のお子さんたちの成長・健康の一助となるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

## 救急外来へのご紹介について

救急車で搬送する患者さんのご紹介は、救命救急センター医師が症状等を直接お伺いさせていただきますので、「救急外来受付」まで**電話でご連絡**いただきますようお願い申し上げます。

平日 昼間 8：30～17：15 ☎0823-22-3111  
 土・日および夜間 17：15～8：30 ☎0823-23-1020



## 定期講演

# 「急増する炎症性腸疾患（IBD）の病態と診断のポイント」

消化器内科医長 楠 龍策

2023年7月19日(水) 消化器内科医長 楠 龍策に（炎症性腸疾患）の病態と診断のポイントについて分かりやすく、ご講演いただきました。

会場からも食習慣のことや生活習慣についての活発な質問がありました。（以下、抄録より）

炎症性腸疾患（IBD）は潰瘍性大腸炎とクローン病に大別され、いずれも近年我が国で急速に増加しています。このIBDの増加には食習慣などの我々をとりまく環境の変化が大きく関与していることが明らかになっています。一方で、IBDに対する新たな治療薬が近年多数開発され、適切な診断による早期の治療介入が、患者さんの予後やQOLを改善することも明らかになっています。今回は、このようなIBDの病態に関する新しい知見と、日常診療においてIBDの適切な診断につながるポイントについてご説明させていただきました。



後列：消化器内科医師 寺岡医師・桑井医長・加藤医師・絆谷看護師長・水本医師・田丸医師・菅田医師  
前列：繁田正信副院長・楠龍策医長・河野博孝科長・仙波医師・奥田医師



消化器内科医長 楠 龍策



副院長 繁田 正信

## TCSA勉強会報告

### TCSA勉強会「みんなで学ぼう！褥瘡の評価とケア」を実施して

皮膚・排泄ケア認定看護師 大田 百恵

7月18日に褥瘡の評価指標である「DESIGN-R®2020」と「褥瘡のケア方法」についてお話させていただきました。スタッフより、「DESIGN-Rの評価が分からない」、「褥瘡が良くなっているのか分からない」等の意見をいただき、このテーマで実施させていただきました。「DESIGN-R®2020」は、日本褥瘡学会より提示されており、2020年に改定され「D（深さ）」と「E（炎症／感染）」に新たな項目が追加になり、詳細に説明させていただきました。今後も、「DESIGN-R®2020」を正しく評価し、アセスメントすることで褥瘡状態に合ったケア方法を実施し、褥瘡の治癒促進に繋げることができます。

また、私が所属する褥瘡防止対策委員会では、褥瘡発生ゼロを目指し、褥瘡発生の予防と持ち込み褥瘡の早期治癒を目標に取り組みを行っています。近年では、医療機器装着による圧迫創傷や、皮膚の摩擦・ずれによって生じるスキン・テア（皮膚裂創）の対策も重要視されています。今後も、患者さんの皮膚を守るという意識を高め、院内全体で褥瘡をはじめとする皮膚障害予防を実施できるよう、現場教育を行ってきたいと思います。

また、皮膚・排泄ケア認定看護師の活動として、毎週木曜日の13時30分からストーマ外来を担当しておりますので、ストーマトラブルなどあれば、ぜひご紹介くださいますようお願いいたします。



兼栄養管理室長・香川看護師・大田副看護師長・鈴木外科医長・大塚看護師長・保手濱主任栄養士



鈴木外科医長の質疑応答



皮膚・排泄ケア認定看護師  
大田百恵



講演会風景

# 9月の時間外 研修会／勉強会

〔継続中〕

独立行政法人国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 管理課 庶務係（教育企画部）  
 広島県府前町青山町3番1号/TEL:0823-22-3111/ホムアイ: https://kure.hosp.go.jp/



研修会名	日 時	場 所	講 師 ※敬称略	担当部署	院外参加	対象職種
RCTオープンセミナー 「人工呼吸器装着中の栄養管理」	9月8日 (金) 18:00～19:00	地域研修センター 1・2	呉医療センター 管理栄養士 保手濱 由基	呼吸ケア チーム	院内 向け	全職種
コメディカルのお薬勉強会 「心不全治療の薬剤について」 「心臓カテーテル検査時に使用する薬剤について」	9月11日 (月) 18:00～19:00	地域研修センター 1・2	呉医療センター 薬剤部 森島 智華 薬剤部 石村 美祐	薬剤部	院内 向け	看護師 助産師 コメディカル
【法定研修】 令和5年度第1回 医療安全講習会 「麻薬の管理と取扱いについて」 「RSS (Rapid Response System) の概要と 当院でのRRS活動の現状について」	9月12日 (火) 18:30～19:30	地域研修センター 1・2	呉医療センター 薬剤部長 藤田 秀樹 救命救急センター部長 岩崎 泰昌	管理課	○	全職種
消化器合同オープンカンファレンス 肝・胆・膵及び上部消化管を対象疾患とし、 画像診断から手術・病理診断まで担当各科で検討	9月13日 (水) 18:00～	地域研修センター 1・2	呉医療センター 消化器内科 放射線診断科 病理診断科	消化器外科	院内 向け	全職種
地域医療研修センター特別講演会 「敗血症の診療を見なおそう」	9月15日 (金) 19:00～	地域研修センター 1・2	広島大学大学院医系科学研究科 救急集中治療医学 教授 志馬 信朗 先生	管理課	○	全職種
TCSA勉強会 「周術期の口腔機能管理について」 「セルフレケアができない方の口腔ケア」	9月19日 (火) 18:00～19:00	1・1F 大会議室	呉医療センター 歯科口腔外科医師 加藤 大喜 主任歯科衛生士 澤田 有里	栄養管理室	○	全職種
地域医療研修センター定期講演会 「当院における乳癌診療の実際」 ～初期治療を中心に～	9月20日 (水) 19:00～20:00	地域研修センター 1・2	呉医療センター 乳腺外科科長 吉山 知幸	管理課	○	全職種
医療機器安全使用に関する研修会 保育器「babyleo TN5000について」	9月26日 (火) 17:30～18:30	1・1F カンファレンス室	呉医療センター ME管理室 久恒 一馬	ME管理室	院内 向け	全職種



自己研鑽で専門性を高めましょう!!

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1-1

地域医療連携室

独立行政法人 国立病院機構

呉医療センター・中国がんセンター

河野 博孝

西岡 巧

竹中 恵子

折本 陽一

片山 千雪

TEL: (0823) 22-3816